ご利用の手引き

FOMA® F905iBiz

’08.1

FOMA F905iBizは、FOMA F905iをベースとしていますが、高い安全性を確保するためにいくつかの機能が制限されています。
本紙では、『FOMA F905i取扱説明書』の章ごとに、FOMA F905iBizでは制限されている機能について説明します。

- 『FOMA F905i取扱説明書』に記載されている機種名「F905i」は「F905iBiz」と読み替えてください。
- F905iBizには、最初から使用が制限されている機能と、遠隔操作によって制限がかかる機能があります。FOMA F905iBizの使用者が、遠隔操作によってロックされた機能の制限を解除することはできません。
- 『FOMA F905i取扱説明書』に記載されているマーク（アイコン）には、機能が制限されているためにF905iBizでは表示されないものがあります。
- FOMA F905iBizで制限されている機能に関するご質問は、システム管理者へお問い合わせください。

本紙の見かた

表記例	意　味
かんたん検索／目次／注意事項	『FOMA F905i取扱説明書』の章タイトルを示しています。
ALL	『FOMA F905i取扱説明書』の章全体に機能制限がかかっていることを示しています。
PART	『FOMA F905i取扱説明書』の章の一部に機能制限がかかっていることを示しています。
→P22	『FOMA F905i取扱説明書』の関連ページを示しています。

かんたん検索／目次／注意事項 PART

- CD-ROMは付属していません。→P22

ご使用前の確認 PART

- F905iBizの主な機能制限について、「各部の名称と機能」を併せてご覧ください。→P24～25

電話／テレビ電話 PART

- 遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときには、テレビ電話の発着信はできませんが、着信履歴には記録されます。→P47
- 遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときには、音声電話からテレビ電話への切り替えには対応しません。
- F905iBizの使用者または遠隔操作によってダイヤル発信制限が「ON」に設定されたときには、国際プレフィックス設定およびプレフィックス設定を使用できません。→P53
- 車載ハンズフリー機能には対応していません。→P54
- 外部機器と接続してのテレビ電話は利用できません。→P65

電話帳 PART

- FOMAカード電話帳を使用することはできません。
- 遠隔操作によって電話帳機能が制限されているときには、電話帳を利用して電話をかけることはできません。また、着信／受信時動作設定に関わらず電話やメール画面での電話帳との照合、赤外線による電話帳データの送受信や電話帳お預かりセンターからの電話帳データの保存など、電話帳を利用するすべての機能が使えません。

音／画面／照明設定 PART

- ICカード（トルカ取得含む）に関する設定はできません。
- 遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときにはテレビ電話や静止画／動画撮影に関する設定はできません。
- バイリンガルには対応していません。FOMAカードを差し替えても、常に日本語で表示されます。→P104

あんしん設定　PART

- F905iBiz使用者の設定に関わらず、遠隔操作によって指紋のみ認証設定（→P109）、ダイヤル発信制限（→P113）、開閉ロック（→P119）、メモリ登録外着信拒否（→P122）が「ON」に設定される場合があります。
- F905iBizでは、開閉ロック起動中のメッセージが「開閉ロック中」ではなく「ロック中」になります。→P119
- 遠隔操作によってタイマーロックが「ON」に設定される場合があります。タイマーロックが「ON」に設定されると、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、キー操作できないように自動的にロックをかけます。また、FOMA端末を閉じたときには開閉ロックと同じ動作になります。

カメラ　ALL

- 遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときには、カメラ、ビデオ、バーコードリーダーの機能は使えません。

メール　PART

- SMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSを表示したりすることはできません。→P208～209

ｉアプリ　PART

- おサイフケータイ対応ｉアプリはダウンロードできません。→P212
- 遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときには、モーショントラッキングは使用できません。モーショントラッキングに対応したゲームをダウンロードしても、その機能はお使いいただけません。→P216
- 「FOMA通信環境確認アプリ」以外のｉアプリはプリインストールされていません。→P216～221
- ｉアプリの自動起動設定は「自動起動する」に固定で変更できません。また、ｉアプリごとの自動起動情報登録で「ソフト設定」を変更することはできません。→P222

おサイフケータイ／トルカ　PART

- おサイフケータイの機能は使用できません。おサイフケータイ対応ｉアプリもプリインストールされていません。
- トルカ機能の設定はできません。→P234～235
- ICカードロックの設定は常に「ON」となり、ロックを解除することはできません。また、待受画面には、ICカードロック中であることを示す が常時表示されます。→P235～237

GPS機能　PART

- GPS対応ｉアプリ「地図アプリ」はプリインストールされていません。→P242～245

ワンセグ　ALL

- ワンセグ機能は搭載していません。

フルブラウザ　PART

- microSDメモリーカードを必要とするデータ（PNG形式とBMP形式の画像、PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイル）はダウンロードできません。→P273

データ表示／編集／管理　PART

- microSDメモリーカードは使用できません。→P291～301
- iC通信機能は搭載していません。→P307～310
- 遠隔操作によって赤外線機能が制限されているときには、赤外線通信は使用できません。→P307～310
- 遠隔操作によって赤外線機能が制限されているときには、赤外線リモコン機能は使用できません。→P310
- 遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときには、サウンドレコーダーは使用できません。→P311～312

Music&Videoチャネル／音楽再生　ALL

- 音楽データのダウンロードや再生はできません。Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤー、FMトランスミッタの機能は使用できません。

その他の便利な機能　PART

- お買い上げ時、スイング設定の待受画面表示中（右・左）には機能が設定されていません。また、「ワンセグ」「ミュージック」「Music&Video チャネル」「ビデオ」は選択できません。さらに、遠隔操作によってカメラ機能が制限されているときには、「静止画撮影」「動画撮影」「バーコードリーダー」も選択できません。→P348

文字入力　PART

- 「区点コード一覧」は、ドコモのホームページからダウンロードすることができます。F905i用PDF版「区点コード一覧」をダウンロードしてご利用ください。→P367
  - 「FOMA F905i取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
    http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

ネットワークサービス　PART

- 2in1の機能は利用できません。2in1を契約したFOMAカードを挿入しても、Bナンバーからの発信やメール送信はできません。→P377～379

パソコン接続　ALL

- パソコンとUSB接続したデータ通信には対応していません。

付録／外部機器連携／困ったときには　PART

- 制限されている機能を実行すると、「この機能は起動を制限されています。利用できません」というメッセージが表示されます。また、メニューによっては や異なる文字色で表示され選択できません。→P398～409
- 「車載ハンズフリーキット 01」「FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01」「FOMA USB接続ケーブル」「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」「マイク付リモコン F01」は、F905iBizには対応していません。→P429
- 外部機器との連携はできません。→P430
- 質量は約135g（電池パック装着時）となります。→P446
- The SAR value in the 'Declaration of Conformity' section is presented as 0.891 W/kg.→P449
- The SAR value in the 'FCC and IC RF Exposure Information' section is presented as 0.278 W/kg when tested for use at the ear and as 0.373 W/kg when worn on the body.→P449
- 本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulation）の適用を受けます。→P450

■ 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F905iBizの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F905iBizのSARの値は1.430W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ　http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

お問い合わせ先

ドコモの法人向けサイト
NTTDoCoMo Business Online　パソコンから　http://www.docomo.biz
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

販売元　NTT DoCoMo グループ
株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州
製造元 富士通株式会社

環境保全のため、不要になった電池は
NTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

適切に管理された森林の
植林木80%利用しています

大豆油インキを使用しています。

’08.1（1版）
CA92002-5327